

令和元年 11 月 9 日
福島河川国道事務所
福島地方気象台

令和元年台風第 19 号に伴う 阿武隈川上流洪水予報・水防警報の 須賀川水位観測所における暫定基準水位を戻します

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所と福島地方気象台が共同で発表している「洪水予報」及び国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が発表している「水防警報」の発表基準については、令和元年台風第 19 号による出水により、福島県須賀川市浜尾地先において阿武隈川の堤防の決壊が生じたことから、10月18日10:00から阿武隈川の須賀川水位観測所において暫定基準水位を設定し運用してきました。

11月8日に堤防決壊箇所の緊急復旧工事が完了したことから、11月9日12:00をもって、別紙の通り暫定基準水位による運用を終了し、基準水位を元に戻します。

今後も大雨時には、河川水位が急に上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報に注意してください。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市記者クラブ、郡山市記者クラブ>>

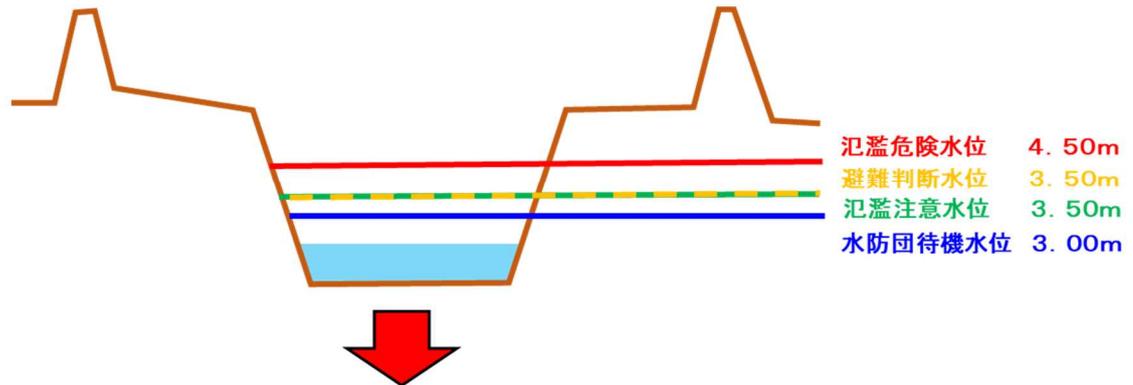
【問い合わせ先】

福島河川国道事務所	調査第一課長	古賀 博久	電話	024-546-4331
福島地方気象台	水害対策気象官	上澤 健一	電話	024-534-0321

【須賀川水位観測所（97.9kp）】

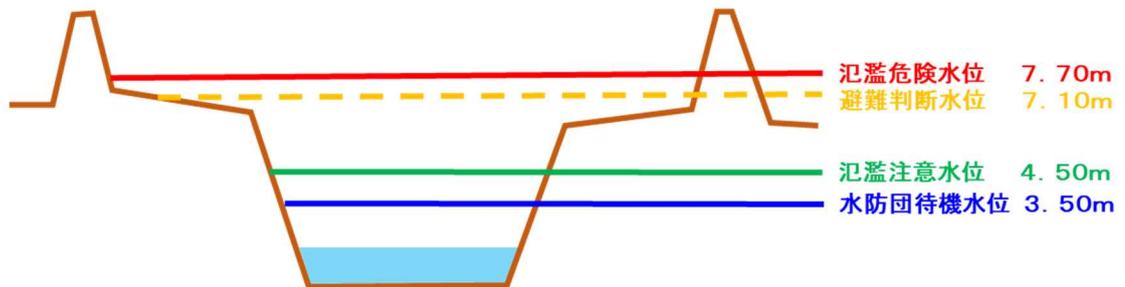
暫定基準水位の運用

[10月18日10:00～11月9日12:00]



従来の基準水位の運用(元に戻します)

[11月9日12:00～]



水位 危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫の発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備等の氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階